

令和4年10月15日

第1回柏原市森林循環フォーラム

これまでの取組みと 今後の計画

現 状

市域面積2,533ha 人口約6万8千人

森林面積 717ha

うち人工林 107ha (15%)

天然林・竹林等 610ha (85%)

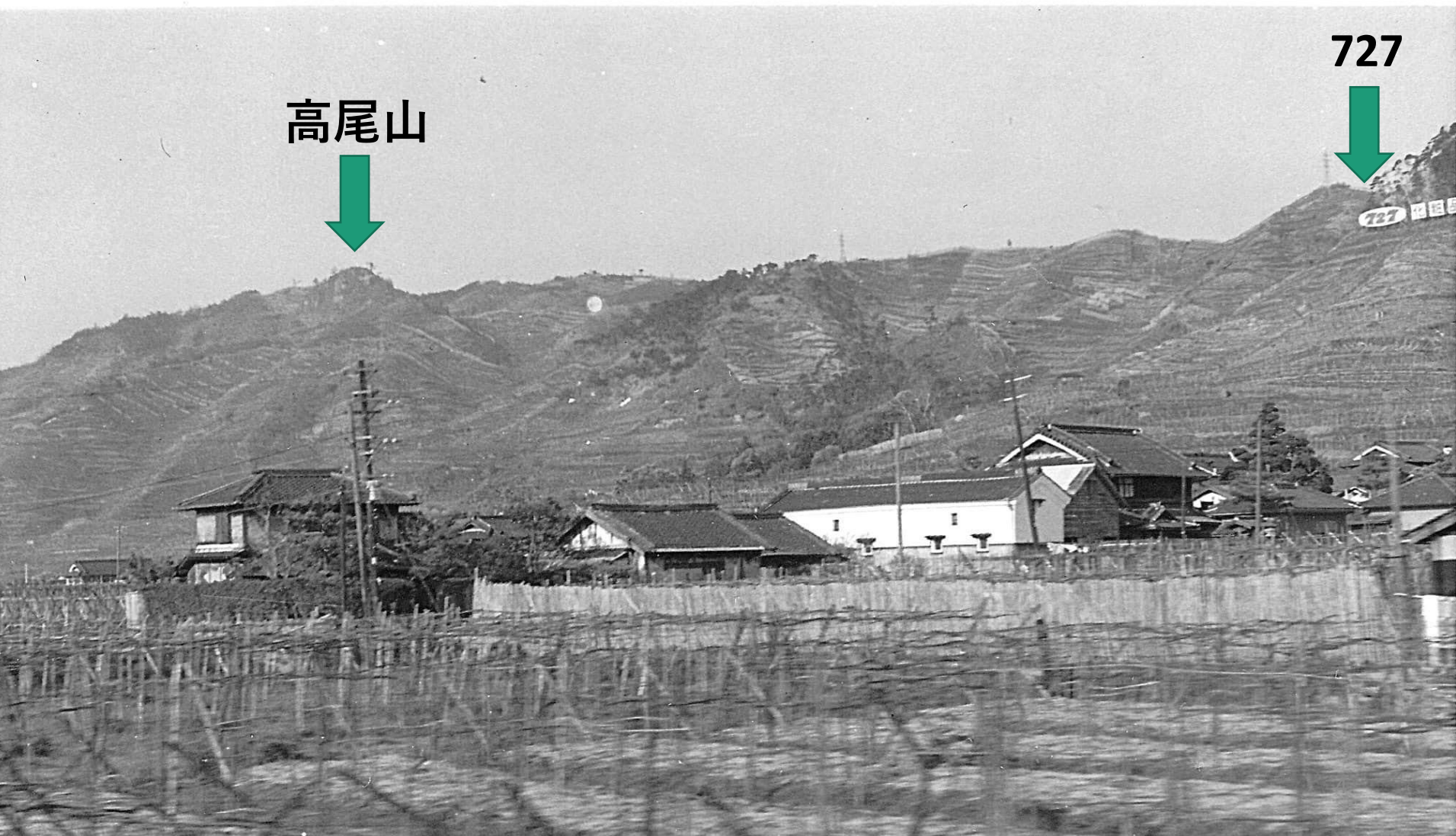
■市域の3分の2は山で、森林とブドウ畑が混在

■スギ・ヒノキを主体とする人工林は散在し、放置状態の箇所も多く、いわゆる林業としての経営が行われているところはない

課 題

- 所有規模は零細で、相続により更に細分化が進行
- 山との関わりが薄くなったことで自己所有地の境界が不明な事例が増加
- 天然林は、松くい虫やナラ枯れが蔓延するとともに、笹や竹、葛の侵入が進み、林況が著しく悪化
- 山麓部や山間部に広く分布していたぶどう畑の耕作放棄地が増え、そこにも竹や葛等が拡大中

昔（昭和前期）のぶどう畑の様子
山の上までブドウ畑が広がっています
【カタシモワイナリー提供】



最近のぶどう畑の様子

多くが、竹林や森林、ササ原に替わっています。

高尾山



【2022年4月撮影】

727



森林保全検討会の検討フロー（予定）

第1回検討会（2021年8月）

- ① 柏原市の森林環境譲与税について
- ② 柏原市の森林の現状と課題の認識、森林整備の目標像について
- ③ 市民の森林についての意識調査



第2回検討会（2022年7月）

- 【報告事項】
- ① 取組状況と今後の計画について
 - ② 森林調査の中間報告
 - ③ 市民等の森林意識調査の結果

- 【検討事項】
- ④ 上記調査結果を踏まえて取組みべきこと
 - ⑤ 第1回フォーラムについて

- ① 市内の森林保全や森林の資源活用について考える場
- ② 「森林」をキーワードに人が出会う場



第1回フォーラム（2022年10月）

- 【第1部】 研 修
- ① 森林のこれまでとこれから（講演）
 - ② 当事者の声を知る（3名の発表と意見交換）
- 【第2部】 意見交換 グループ毎＋全体⇒森林整備活動の必要性を認識



第3回検討会（2023年3月）

第3回検討会（2023年3月）

- ①森林保全活動への参加促進策について意見交換
- ②森林保全のしくみづくりについて
（連携方策、行政の支援策、財源確保策、プラットフォームの構築など）
- ③第2回フォーラムについて



第2回フォーラム（2023年6月）

- ①森林保全活動・プラットフォームの事例紹介
- ②森林保全のしくみの全体像（大まかな方向性）の提示
- ③森林保全活動へのかかわり方について意見交換
⇒ プラットフォームの必要性認識



第4回検討会（2023年10月）

- ①森林保全に向けたロードマップ（or アクションプログラム）案づくり
- ②プラットフォームの機能、役割分担、運営方法などについて議論
- ③第3回フォーラムについて



第3回フォーラム（2024年3月）

- ①森林保全プラットフォームの設立に向けてのキック・オフイベント
- ②森林保全に向けたロードマップ案づくり

① 柏原市の森林環境譲与税について

■ 柏原市の森林環境譲与税による業務推進の基本的な考え方

- ① 森林環境譲与税を効果的且つ効率的に活用する。
- ② 市民や企業等の協力を得ながら連携して進める。
- ③ 毎年、森林環境譲与税の50%以上は、森林整備に充てる。
- ④ 業務執行の優先順位
森林整備 > 普及啓発・人材育成 > 木材利用 とする。

■ 森林保全検討会において目指すアウトプット

柏原市の森林保全に向け、下記2点を満たす必要な取り組みの拠り所となる指針や多様な関係者を巻き込んでいく「場」の創出・しくみづくりを行っていく。

- ① 市が森林環境譲与税事業及び森林整備を進める指針となるもの
- ② 行政計画ではなく、市民が森林保全活動をする指針となるもの
⇒ 「情報を共有」し、「新たな活動を誘発」していくような指針に。
- ③ 特に、②を具現化していくための場の在り方・しくみ
⇒ 市民、事業者等多様な人が議論に参加する場をつくりながら、検討

柏原市の森林整備取組方針

■ 現況把握と現状分析の実施

⇒ 効果的な森林の保全整備

■ 森林の保全整備ガイドライン作り

■ 行政、市民、企業などが一体となって森林保全の 取り組みを行うスキームを構築

■ 森林保全に必要な知識と技術を併せ持つ人材育成

■ 所有者調査や境界の明確化

森林整備の今後5ヶ年の計画 【 】は実績

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
森林整備 (資源管理 林)	【2.8ha】	【1.6ha】 所有者調査 【100名】	5ha 所有境界の 明確化調査	5ha 所有者・境 界の明確化 調査	5ha 所有者・境 界の明確化 調査
体制整備	専門職員の配置と森林情報システム整備				
調査	森林現況調 査	地区別森林 現況分析	森林の評価 ・森林整備 指針づくり		
森林保全 検討会開 催	準備	検討会開催 (1回)	検討会開催 (3回)	検討会開催 (3回)	検討会開催 (2回)
人材育成	5名	4名	4名	4名	4名
普及啓発 参加者を 保全活動 に誘導		間伐体験等 【4回】	間伐体験等 7回	間伐体験等 7回	間伐体験等 7回

譲与税見込み	600万円	600万円	750万円	750万円	900万円
【決算額】	【617万円】	【610万円】			

令和3年度 柏原市緊急雇用創出森林保全事業 について

1. 目的

森林環境譲与税を財源に、森林整備作業をしたい方を緊急雇用し、森林整備に係る育成プログラムを通じて森林の保全とその担い手の確保・育成を図る。

2. 制度内容

- ①市内で森林の保全上重要な個人有林で、管理が行き届かない箇所を対象に、森林所有者と柏原市が協定を締結して実施する。
- ②森林整備作業に従事したい方を公募。1チーム4名で作業を行う。
- ③作業を通して、森林環境保全に関する知識や技術の習得を図る。
- ④作業者には、今後、柏原市内の森林の環境保全に協力を要請する。

3. 作業員の雇用条件

身分は、柏原市会計年度任用職員（森林環境保全員）

雇用期間 令和3年10月1日～令和4年1月31日（週3日勤務）

4. 研修プログラム

講習 ①座学：森林の基礎的な知識の取得（森林整備概要、安全管理）

②林業機械の法定研修の受講

・刈払機取扱作業安全衛生教育

・チェーンソー従事者特別教育

③自然解説（現場で自然の大切さや素晴らしさを理解）

実技 ①作業歩道の動線確保

②竹林や森林の手入れ

高尾山 創造の森 ガイドマップ

- 交通のご案内
- 近鉄大板線「堅下駅」または、「法善寺駅」から徒歩
 - JR大和路線「柏原駅」から徒歩
 - 駐車場はありませんので、必ず徒歩でご利用ください。
- 利用についてお願い
- ゴミは必ず各自で持ち帰りましょう。
 - 草花や樹木を折らないでください。
 - 火の使用は禁止です。
 - 自転車・バイクを乗り入れないでください。
- お問い合わせ先
- 大阪府中部農と緑の総合事務所 ☎0729-94-1515
 柏原市市民部産業振興課 ☎0729-72-1501
- ※このパンフレットは再生紙を使用しております。



高尾山創造の森

柏原市立健康 福祉センター

令和3年度事業か所



凡 例

- きぼうの道
- くつろぎの道
- たにごえの道
- なかよしの道
- いにしへの道
- ひのきの道
- みはらしの道
- 最寄り駅からの道
- 木製デッキ
- トレイル
- 古墳

1:5,000

事業対象区域



河南町里山倶楽部での現地研修（令和3年10月6日）



手道具の安全な使い方



里山林の管理

刈払機取扱作業者安全衛生教育（令和3年10月11日）

於：河南町里山俱樂部



屋外救急法研修（令和3年10月14日）



林業研修（於：河内長野市 令和3年11月4日）



人工林



木材原木市場



南河内の林業の概要説明



木材加工施設

伐採作業実習（創造の森 令和3年12月8日～9日）



森の利用を考えるワークショップ

「竹炭作成体験」 (令和4年1月5日)

於：河南町里山倶楽部



竹の長さを揃える



長さを揃えた竹を並べる



竹を小割する



小割した竹を束ね、
炭窯の中に並べて
いく



毎月末のワークショップ

- ⇒
- ・その月の振り返り、翌月の作業計画の検討
 - ・道具の手入れ、クラフト など



翌月の作業計画の検討



間引いた竹を使った門松づくり

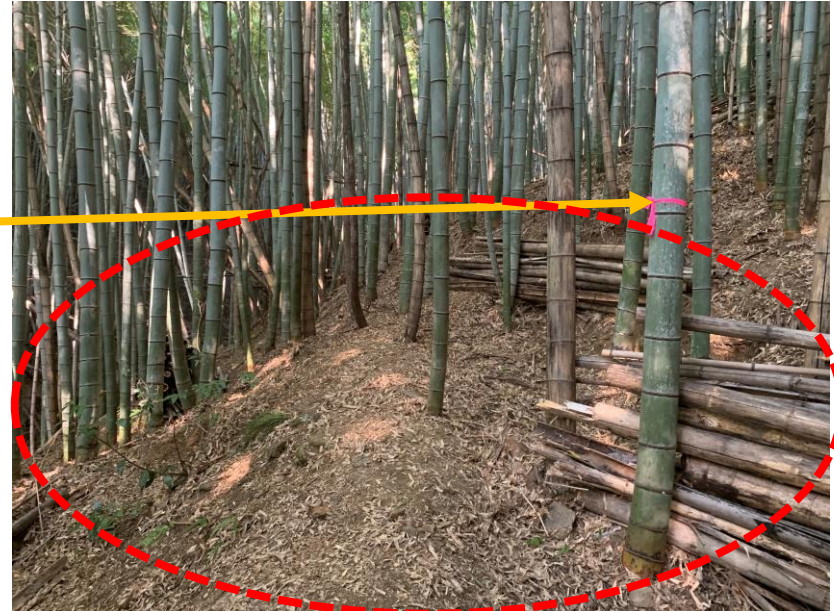


竹林の整備（林床整理）

林床の竹を拾い、適当な長さに切り、
垣根のように積んでいく



初日作業開始前
(ピンクのテープは同じ竹)



初日作業終了時

溪床部の防災対策

特に溪床部の倒れた竹や折れた竹は、洪水時に流竹とならないよう、拾い上げ、岸法面の上にまとめる



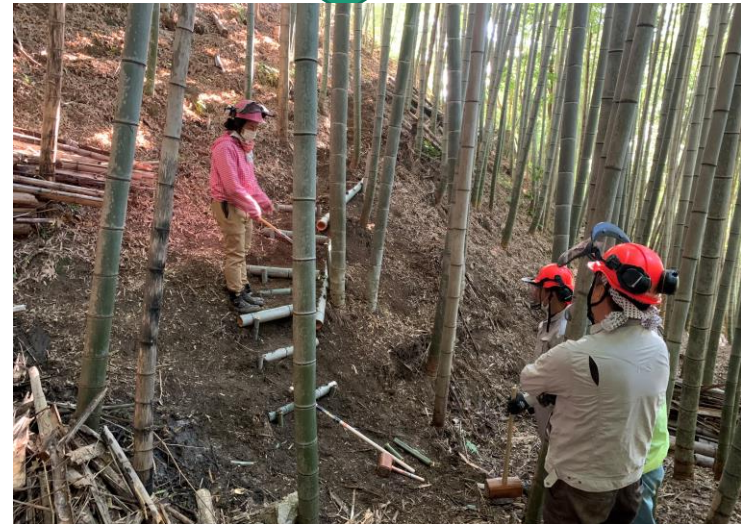
竹林の整備（歩道の整備）



斜面に鍬で水平に段切りをする



歩道部の谷側を竹で土留めする

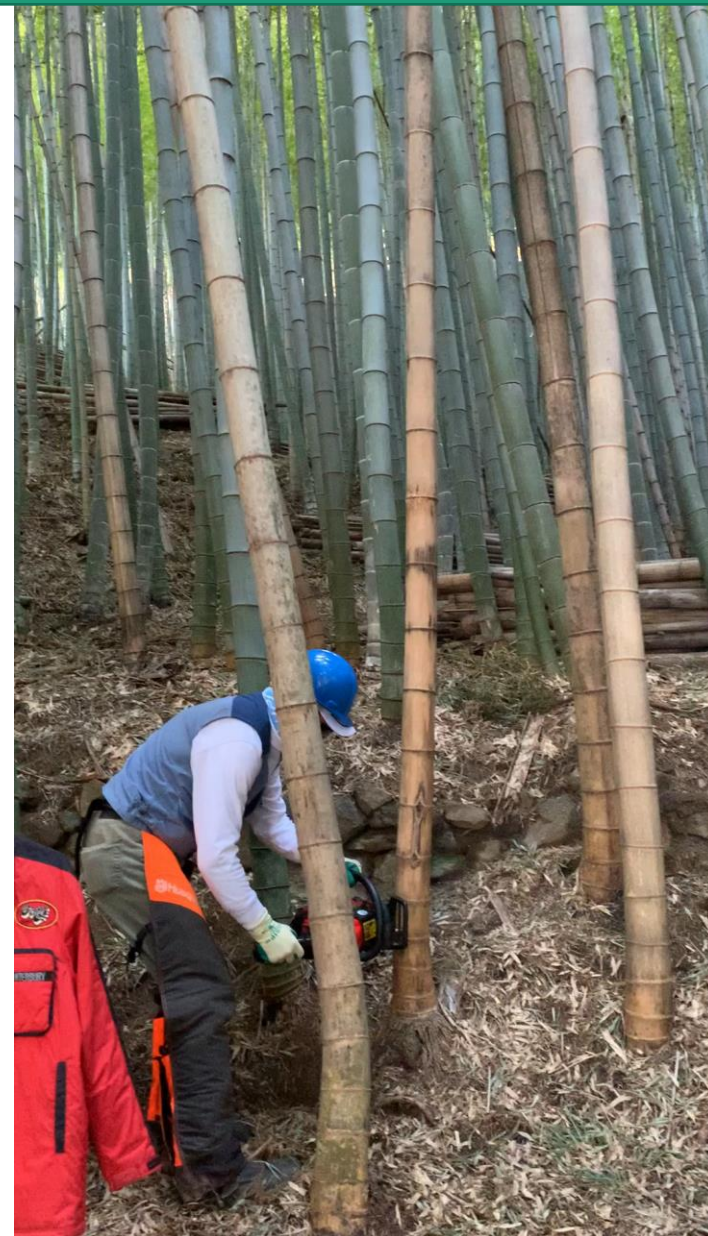


ステップの下側に竹を置き階段を作る

竹林の整備（伐採）



林床を整備後、傾いた竹や古い竹の
伐採、密度の高い竹の間引きを行う

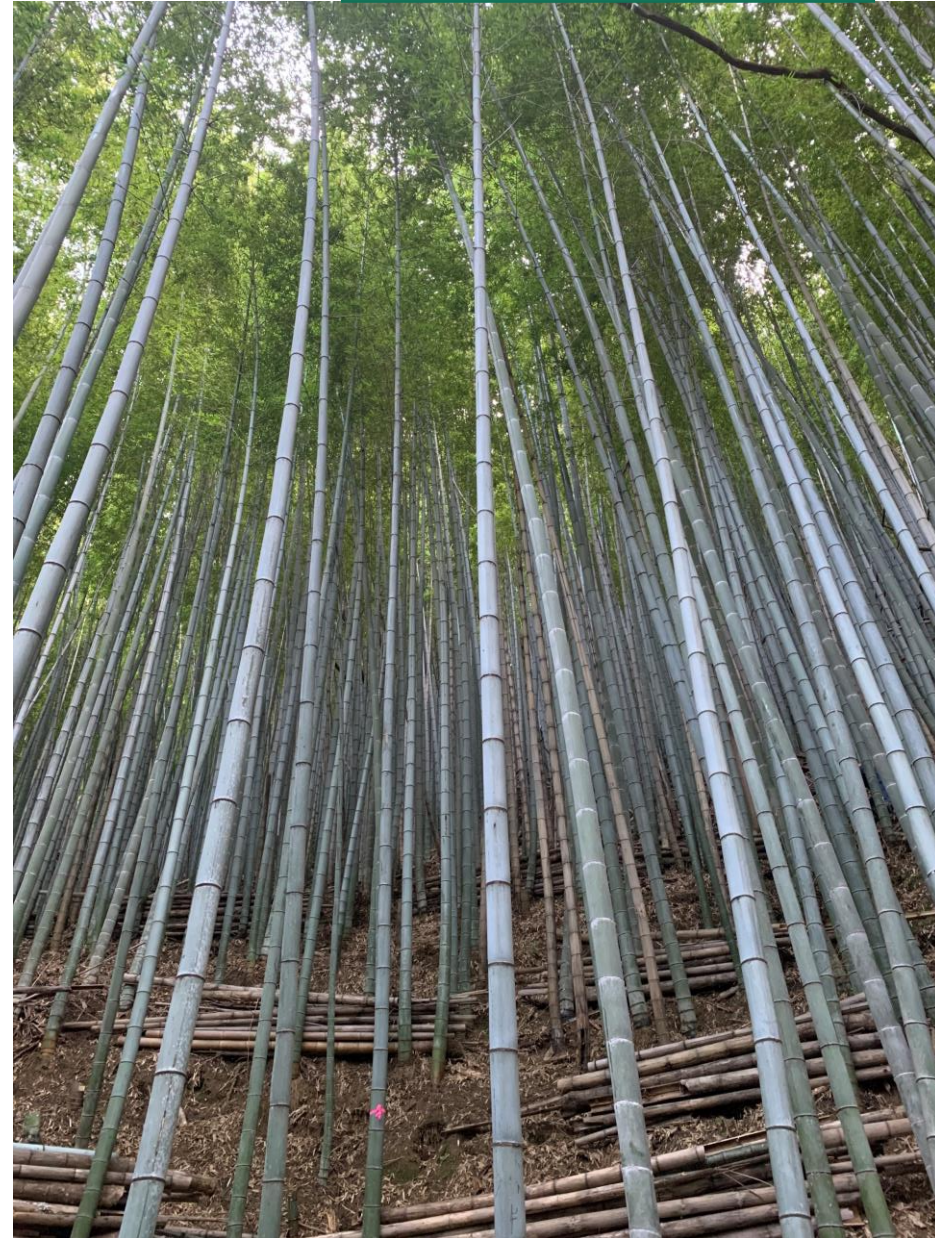


作業前後の景観

作業開始前



作業後

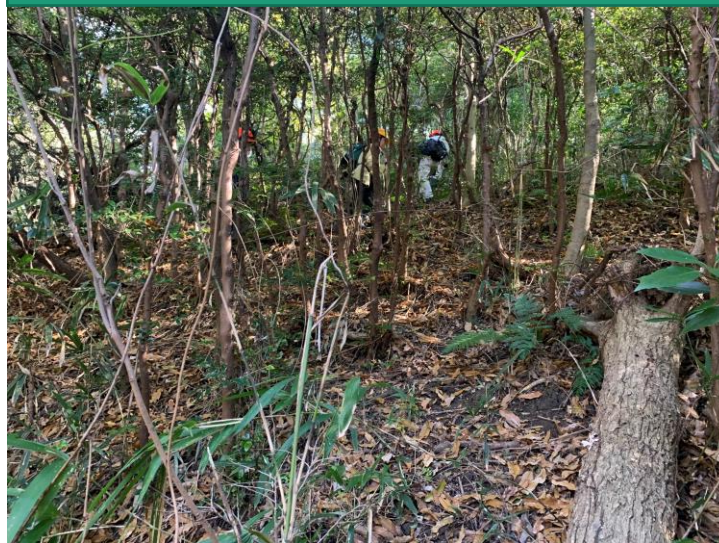


雑木林の現況



沿道部は笹で覆われている

林内はナラ枯れが蔓延し、
ヒサカキ等の常緑林化が進む



下は、ゴルフ場の池に隣接



林内は笹が繁茂し、見通しが悪い

対象の雑木林は、沿道でゴミの不法投棄が酷い



雑木林の整備



刈払い機による笹刈り



林床の整理



雑木林の整備（倒木整理）



雑木林の整備後の景観

所有者のしたい森づくりに
向けて次年度、更に手入れ



今回の取組みの成果と課題

【成果】

- 作業をした人に森林に対する知識と技術が会得された。
- 放置されていた森林が美しくなり、地表面に光が入ることで、新たな植生の自然導入が期待される。
- 所有者にも、（放置され、あきらめていた）森林に手を入れるヤル気を起こした。

【課題】

- 育成した人材の活用のための場づくり、しくみづくり
- 森林所有者が、ボランティア等の協力を得ながら持続的に森林を維持管理していくしくみづくり